

## 宮崎大宮高校弦月同窓会入会式会長挨拶

明日卒業式を迎えられる皆さん こんにちは。

そして ご卒業おめでとうございます。

私は、ただいまご紹介をいただきました 弦月同窓会会長の藤元でございます。私たち同窓会は、皆さんが弦月同窓会に入会されることを大歓迎でお迎えいたします。

皆さんは、これから長く先の見えない人生の旅路を歩いていくことになります。楽しいこと、つらいこと、様々な経験をしていくことでしょう。

その中で、多くの人に出会い、助けられ、導かれることもあると思います。そういった人生の拠りどころに、大宮高校の弦月同窓会がなることを願っています。

皆さんは、中学校時代からコロナ禍を経験し、ウクライナや中東の戦争の悲惨さをニュースで触れ、今までにない激動する国内・国外の動きの中で高校時代を過ごされたと思います。

時代が大きく動いています。皆さんの今までの体験、これからの経験に基づいた新しい発想が、これからの世界や日本、宮崎の将来に掛かっています。

皆さんは、これからますます成長されていくでしょう。ひとつの気づきがあなただを二倍にも三倍にも大きくしてくれるに違いありません。また、新たな出会いが、あなたを未知の世界にいざなってくれることでしょう。

皆さんの多くの出会いの中で、きっと全国各地にたくさんいらっしゃる先輩方と巡り合うこともあると思います。どうか胸襟を開いて門を叩いてください。

私を同窓会役員として誘ってくださったのは、第6代弦月同窓会会長の後藤賢三郎会長でした。後藤会長は、第5代大宮高校校長を務められ、宮崎県教育長にも就任されました。私が高校3年生の時は、教頭先生でいらっしゃいました。

当時を思い出すと、中学1年生の時に国際衛星通信が始まり、最初の国際

ニュースが、アメリカのケネディ大統領暗殺のニュースでした。子供心にアメリカはどうなるんだろう、また冷戦時代に戻るんだろうか、日本は・・・初めていろいろ国際社会のことを考えた出来事でした。

高校1年生の時には、ビートルズが日本にやってきました。エレキギターの音に心を奪われました。高校内でもバンドが生まれ、あちこちで隠れて演奏し疲れました。校内でコンサートをやろうとなり、学校側と団体交渉をしました。生徒側は応援団長の私、学校側は後藤教頭先生でした。

厳しく怖い後藤先生でしたが、若者の主張をご理解いただき、プールサイドでの開催を許可して頂きました。県立高校でエレキが入ったのは初めてだったと思います。但し一つ条件が付きました。「自分たちで作詞作曲した曲をやること。」さすが後藤教頭先生だなと思ったことを鮮明に覚えています。

大宮高校理念の「自主自律」の精神、「真・美・善」の行動規範は、今から皆さんが向かう先先で、立ち止まった時に助けてくれると思います。

大宮高校を卒業できたことに誇りを持って、これからも明るく楽しく頑張ってください。

皆さんのご健闘を祈っております。

令和6年2月29日（木）

宮崎大宮高等学校弦月同窓会

会 長 藤 元 良 一